

志木市議会議員 無所属

# 天田いづみの議会だより

## 市議会・まちづくり情報



〒353-0006 志木市館1-1-2-108  
Tel/Fax:048-471-1338  
E-mail: amada@ff.e-mansion.com

天田いづみのホームページ <http://www.ff.e-mansion.com/~amada/>

第 29 号 2006 年 2 月

### ．．． 財政健全化と市民パワーで輝く志木市を！ ．．．

7月1日に就任したばかりの長沼明市長が8月25日に財政非常事態宣言を出さなければならなかったことに、私は2005年度予算に反対したとはいえ、大変な責任を感じています。

そもそも05年度当初に財政調整基金(市の貯金)を8億6000万円も取り崩さなければ予算が組めなかったのです。

要因としては、国の三位一体改革に伴う大幅な地方交付税削減(前年度比で03年度-33%、04年度-22.5%)、微々たる税源移譲も、税収が増えれば交付税が削減されるという現在のシステムでは財政の安定化に反映されません。

少子高齢化に伴う税収減、一方で扶助費(生活保護費、障がい者支援費、乳幼児医療費、就学援助等の福祉サービス費)は毎年約15%ずつ伸びています。加えて国民健康保険の医療給付費も毎年約2億円ずつ伸びており、税率改定を先延ばし、一般会計からの繰り入れでしのいできましたが、一般会計予算が組めない事態に陥り、一定の税率改定やむなしの状況です。

9月議会では一般質問で財政健全化策について提言(次ページ参照)、04年度決算に対する討論で今日に至る財政構造を検証しました(議会ホームページ参照)。

一方で明るいきざしもあります。1人1日当たりのごみ量は03年度752グラムから04年度726グラムに削減されました。①ごみになるものは断る②ごみを減らす③再使用する④再生して利用するを目標に事業系ごみの適正排出を事業所に働きかけた市職員、志木ニュータウン住民によるごみ問題専門委員会等の地道な努力が続けられています。

また、防犯パトロール等の地域防犯活動に行政、市民が一体となって取り組んだ結果、05年の犯罪率(人口1000人当たりの刑法犯罪認知件数)は前年比-10.49%(減少率県内2位)、05年10月までの街頭犯罪-47%(2位)、侵入盗-44.6%(8位)、刑法犯総数-42.5%(2位)となりました!

財政は厳しくとも「志木市には市民がいる!」の意気込みで活動する市民には心強い限りです。財政健全化と市民パワーで、今こそ真の市民自治を創っていきましょう!

#### 朝霞警察署管内自主防犯組織の状況(06.1.10)

区分	自治会数	結成数	組織率(%)
朝霞市	74	25	33.8
志木市	36	27	75.0
和光市	97	40	41.2
計	207	92	44.4

## 2005年9月議会 一般質問より



### 1. 財政健全化策について

【天田】

- 市税、公共料金の滞納には、縦割りでなく横断的な収納対策ときめ細やかな生活相談を
- 人件費の削減のみならず、職務の執行のあり方、適正な人事管理で人件費の無駄をなくす
- 職員の意識改革は教育公務員、医療職等にも
- 小規模事業者の育成も重要だが、「あくまでも安価で良質、公平公正な競争の下で契約締結し、自主的な受注努力を助長する」の方針に基き、物品調達の妥当性の検証を
- 公共施設の省エネルギー・省資源を ISO14001 で着実に実行、職員はもとより市民にもコスト意識を
- 指定管理者制度、行政パートナーだけでなく様々な市民協働を
- 補助金のあり方を検証し、イベント型でなく日常的に地域社会をよくしていくための活動に対して有効活用を
- 朝霞地区一部事務組合、志木地区衛生組合等、広域行政の負担金についても検証を
- 市長給与、職員人件費、議会費も含めた聖域なき改革を
- 住民1人当たりの行政コストを検証し、受益と負担の適正化、市民が出来ることは市民に

【市長】滞納については市税全体で約7億、国民健康保険税で約9億のほか、保育料、入学資金貸し付け等、徴収対策特別理事を中心に、効果的な収納対策を図っていく。物品調達の適正化、行政関与の妥当性等についても適切に対応する。職員の意識高揚と能力発揮は大きな要素、専門職についても意識改革と人事管理の適正化を行う。一部事務組合の職員給与のあり方や広域行政の負担金についても、構成市に働きかける。

【天田】

- 親水公園建設基金等各種基金についても、目的に応じ政策的に再検証すべき
- 人件費は一律カットでなく、医師や専門職等行政サービスの質維持への配慮を
- 市民へのタイムリーな情報公開、説明責任を



### 2. 今後の行政運営について

#### (1) 行政施策安定化プロジェクトにおける検討の視点

【天田】財政の安定化と市民協働の視点での検討を。穂坂市長のローカルマニフェストについては、20年後の財政状況まで読めず、来年度の予算編成も厳しい中、見直すべき。簡素で財政に直結した行政評価のあり方を。

【市長】財政非常事態宣言を念頭に、市民協働の視点からも検証、行政評価についてもご指摘の方向で検討する。

#### (2) 市民協働のしくみづくり

【天田】団塊の世代が一挙に退職を迎える2007年問題に向けて、社会の構造や地域社会のあり方自体を変えていかなくてはならない。長年の経験を志木市のために活用していただけるような退職者のための地域活動実践講座等、若い人たちもいきいきと活動していかれるしくみづくりを志木市の政策の根幹に位置づけ、取り組むべき。

【市長】 行政パートナー以外の市民協働のしくみづくりについても検討していきたい。市民公益事業の立ち上げ、支援についても取り組むべき課題。

### (3) 指定管理者制度と行政パートナーについて

【天田】 公共施設を担う行政パートナーについては、4年の期限で指定管理者制度に移行する方針が出されているが、個々の行政パートナーの基盤は弱く、運営主体を NPO 法人化することによって、そこから優秀な人材を派遣できるような支援も必要ではないか。

行政の事業は不採算であり、指定管理者制度で責任能力がある良質な民間事業者の指定は難しい。今ある社会資源、できる限り市民の力を活用した、志木市らしい指定管理者制度の構築を。

【市長】 志木市らしい指定管理者制度の活用をめざしたい。

【天田】 評価のしくみが重要、今は行政パートナーに関わる市民評価に留まっており、知識・経験者を入れ指定管理者制度にマッチした事業運営を評価できるしくみづくりを。

【市長】 識見者、市民活動に実績ある人材確保を研究する。

## 3. 介護保険制度改革 “住民・サービス事業者・行政の有機的な連携、評価のための協働のしくみづくり” について

【天田】 来年度新設される地域包括支援センターでは、社会福祉士、主任ケアマネージャー、保健師がチームで「市が行う介護予防事業」「事業者が行う新予防給付」に関わる介護予防マネジメント事業を行う。更に、日常的な個別指導相談、権利擁護事業、支援困難事例への指導助言、地域でのケアマネージャーのネットワーク構築、主治医とケアマネージャーの連携、チームによるケア等をもとに、長期的継続的なケアマネジメントが重要になってくる。

早急に地域のサービス事業者、利用者、関係団体等で構成される地域包括支援センター運営協議会を立ち上げ、介護保険事業計画と密接に関連付けながらの運営を。

【健康福祉部長】 高齢者の介護予防、生活支援サービス等の相互調整を図るため、志木市地域ケア会議を設置し、保健・福祉・医療相互の連携を深めている。介護サービスの質的向上を目的に、ケアマネージャーや介護サービス提供事業者の研修も実施している。

今回の介護保険制度改革では、介護予防重視の方向性が示され、実施にあたり生活機能が低下している高齢者を早期に把握する必要がある、高齢者の状況に応じた介護予防マネジメントを行う地域包括支援センターが重要な役割を担うことになる。地域包括支援センターの運営評価等を行う地域包括支援センター運営協議会を早期に設置し、市民に質のよいサービスを提供できるよう努めていく。

## 4. 福祉作業所の今後に向けた検討について

【天田】 市民総合センター内の心身障がい者福祉作業所は現在32名で、(仮称)生涯学習センターへの設置も検討されていたが実現は難しい中、昨年12月30日、所沢総合食品地方卸売市場内で NPO 法人ゆうき福祉会が運営するすだち作業所を視察した。シメジ等のパック詰め、ミカンをネットに入れる等、障がいを持つ若者が市場の一角で黙々と作業しており、大変感銘を受けた。その後、市内に開設された志木すだち作業所にはまだ2名しか通所していない。

社会の中で普通に働きながら生活していく趣旨を普及啓発すると共に、市内でヤマト運輸メール便の配達を行っている精神障がい者小規模作業所カナリア工房、ヤマト福祉財団が展開しているスワンベーカリー等のように、空き店舗等を活用した運営についても検討を。

【健康福祉部長】 定員18名で下宗岡に6月開所した志木すだち作業所を運営している NPO 法人ゆうき福祉会は、既に所沢市、日高市で障がい者の自立支援を目的に地域デイケア施設を運営している実績のある法人。市としては民間作業所のよさを理解し、利用していただくことにより、現在の社会資源を有効に活用できるように、福祉課の障がい者グループで十分検討していきたい。

## 5. 持続可能な地域立学校のために、教育財産の有効活用について

【天田】 宗岡中学校の活動「地域立学校経営協議会を中心とした学校づくり、地域安全ネットワーク推進連絡会を中心とした安心・安全な地域づくり、地域の方々を中心とした地域と学校が心で結ばれる学校支援活動づくり」のように、財政が厳しい今こそ、学校を核とした地域づくりとしての効果に目を向けていくべき。

学校職員の意識改革で経費節減、事業の効果的な執行等ハード、ソフト含めた教育財産の有効活用を。

【教育長職務代理者・教育政策部長】 学校全体としての経営参画意識を醸成していきたい。

【天田】 志木四小は現在292人、6年後には200人を割る見通しであり、志木二小は現在649人、西原特定土地区画整理事業等による社会増もシュミレーションすべき。「調整区域」という手法を用いれば、設定された区域内でどちらの学校を選択することもできる。

【教育長職務代理者・教育政策部長】 教育財産の有効活用の観点から、慎重に今後研究していきたい。

## 2005年12月議会 一般質問より



### 1. 人事政策について

#### (1) 人事管理について

【天田】 人件費は歳出の 1/4を占め、来年度までは新規採用凍結という中にあるの職員人事管理は最重要課題であるにもかかわらず、志木市では未だに人材育成に関わる基本的な方針が定められていない。自治体の特性に応じて望ましい職員像はそれぞれ違う。

方針を定めながら、適正な人事評価、昇格、昇給、給与のあり方、定員管理等について構築していく必要がある。

【市長】 人事政策の柱とも言うべき人材育成基本方針の策定を検討していきたい。

人事評価のあり方については、業務目標管理もスタートしており、まずは評価者である管理職を対象とした研修を行い、資質向上に努めていく。

昇給、昇格や給与のあり方等については、人事評価制度の研究を進め、国や県及び民間の動向も参考にしながら、現状の試験制度の再検証も含め、検討していきたい。

【天田】 単にラスパイレス指数(国家公務員の給与を100とした場合の数値)を上げるための昇格は断じてすべきでないと主張してきた。職責として、リーダーとしての資質を見極めて昇格させるべき。

職員の育成を考えた計画的な人員配置や人事異動をすべき。例えば福祉についても、措置の時代と違いマネジメント機能が求められている。単に他の部局とまわしているだけでは優秀な人材は育たない。

【市長】 昇格制度については適切に対応し、職員の資質向上については特段の意を用いていきたい。

## (2) メンタルヘルスについて

【天田】 職員一人一人のメンタルヘルスチェック、相談体制の確立、管理職研修等について朝霞保健所の精神保健福祉担当とも相談しながら提言してきた。組織的、計画的なとりくみをどう行っていくのか。

【市長】 12月現在、心に起因する疾患による休職者が3名、通院者が4名おり、朝霞保健所の協力で27日に臨時のメンタルヘルス相談を予定し、本年度中に所属長対象の研修会や事例を題材としたケーススタディを実施していきたい。

職員自身の心のケアとともに、上司としての対応方針や病に対する職員の理解など、組織を挙げての体制を早急に構築していく。



## 2. 持続可能な市民自治について

### (1) 市民協働によるまちづくりの推進

【天田】 今後の公務のあり方については、真に行政が責任持つて行うべきもの、本来民間で担うべきものを市民、市民団体、事業者等と、我がまちの自治のあり方について話し合いながら構築していく必要がある。

今後は市民協働によるまちづくりの推進を市の重要政策と位置づけ、全庁的なしくみを検討すべきではないか。

【企画部長】 今後の行政運営については公務のあり方を検証し、地域のあらゆる主体とともに地方主権をめざした持続可能な自治改革を進めていく必要があり、第4次志木市総合振興計画(2006～16年)の冒頭に「新たな住民自治を進めるまちづくり」を掲げた。

計画をもとに、政策としての市民協働や市民協働における評価など、個々の政策や事業を展開していきたい。

【天田】 志木子育てネットワーク、村山快哉堂等のように、市民らしい視点で公務を担っていかれるしくみづくり、人材育成等のマネジメントが重要。

### (2) 行政パートナー、指定管理者制度等について

【天田】 今後、公民館等において指定管理者制度を導入する方針が示されているが、指定管理者制度ありきではなく、個々の施設の目的や理念、地域特性に応じて、様々な委託のあり方も含めて検討すべき。

また、来年度から指定管理者制度が導入される市民会館等6施設の評価をどのように行っていくのか。

【企画部長】 必ずしも指定管理者制度が最善とは考えていない。最も市民サービスの向上が期待できる委託形態を検討していきたい。指定管理者制度についても、持続可能な市民主体の自治を推進していく観点から、幅広い議論をしていきたい。

指定管理者制度の導入後は利用者の満足度等、成果の検証が必要。早急に評価方法や手順を検討していく。

### (3) 行政パートナーの2006年度業務について

【天田】 市民から寄せられている様々な意見については行政として検証し、行政パートナーとも話し合いながら改善、見直ししていくべき。

【まちづくり・環境推進部長】 行政パートナーの資質向上と業務改善を図っていく。

【天田】 宗岡公民館、宗岡第二公民館は職員について見直しを考えているということだが職員体制は。

【教育政策部長】 いろは遊学館を中央館的に位置付け、庶務的な業務を一元化していきたい。

【天田】 最も重要なのは志木市の社会教育行政、図書行政としての理念や基本的方向性を位置づけ、3館で共有し、行政パートナーとともに地域性に応じた運営を行っていくこと。単に事業をやるのが公民館ではなく、

地域社会の課題に対して、社会の動向を見極めながら将来を見据えて働きかけていく地域の拠点である。行政パートナーに対しても体系的な研修が重要。

### 3. 組織について

#### (1) 市長部局

【天田】 防災防犯等危機管理機能の強化、障害者自立支援法・介護保険制度改革等福祉重視の組織体制を。

【企画部長】 来年度については抜本的な財政健全化を念頭に、必要最低限の改革を行っていく。

#### (2) 教育委員会事務局

【天田】 06年度当初予算職員配置計画では職員数が減とされており、どう対応するのか。教育サービスセンターはホームスタディ制度、特別支援教育等のマネジメント機能充実を。

【教育長】 教育総務課と学校教育課は一部業務が重複し、生涯学習課と市民スポーツ課は一時期にイベントが集中している。組織を見直し、事業の効率化、業務の平準化を図る。公民館は一元化し、教育サービスセンターはさらに充実させるべきと考えている。

### 4. 成年後見制度、市民後見人の養成について

【天田】 人権研修会「成年後見制度と高齢者の人権」で、1月から市の人権擁護委員になられる司法書士大貫正男先生の講演を伺った。大貫先生は介護保険制度を見据えてヨーロッパから日本に成年後見制度を導入、市民後見人の養成についても先頭に立ってシステム構築に尽力されている。

日本では年間6～7万件の申し立て件数だが対象者は約500万人いる。親族のいない方もおり、司法書士や弁護士等だけではなく、市民後見人を養成していくことが重要。東京都では養成を始めたが、埼玉県は考えてないとのこと。大貫先生のご協力をいただきながら、養成のあり方について検討してほしい。

【健康福祉部長】 来年度から、介護保険の地域支援事業の中で権利擁護の実施が義務付けられているので、相談窓口を明確化し、成年後見制度の啓発に取り組みたい。

市民後見人については、人権擁護委員で成年後見センター・リーガルサポート理事長 大貫先生のご指導を踏まえ、研究していきたい。



### 5. 安心安全なまちづくりについて

#### (1) 地域住民による自助互助のための組織づくり

【天田】 地域防災計画が今年度中に策定されるが、地域住民も自助互助のための組織づくりは必要と考えている。市は具体的なノウハウを提供し、隣近所の助け合いも含めた自主防災組織づくりを具体的に働きかけていくべきではないか。

【まちづくり・環境推進部長】 町内会説明会を開催するなど、自主防災組織の立ち上げを積極的に推進していきたい。

【天田】 朝霞市では防犯まちづくり、防災、消防、町内会について1つの組織に再構築を考えているとのこと。そのくらいの危機感で市の組織のあり方も含めて検討を。

#### (2) 情報提供のあり方

【天田】 地域防災セミナーでは、防災システム研究所 山村武彦先生から現場に即した防災情報をお話いただき、これまでの常識が覆された。

- 例 誤→地震時機の下に避難  
正→一刻も早く窓等から脱出し外に出る

防災についての正しい知識、情報提供を。また、災害情報の提供、児童・生徒に関わる保護者への連絡方法についても検討を。

【まちづくり・環境推進部長】 震災時の初動体制や避難の方法など、学校や社会教育施設、福祉施設にも、より実践的な避難方法等の啓発を行っていく。

災害情報の伝達手段として、携帯電話のメール機能を生かした情報提供など、迅速で的確な情報伝達システムを研究していく。

【天田】高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦等の要援護者をどのように地域の中で把握し、助け合えるかが大変重要だが、個人情報保護法の縛りもある中で、どのように対応していくのか。

【まちづくり・環境推進部長】 要援護者が必要とする支援等を登録していただき、災害時の備えとしたい。

## ● 天田いづみの活動日誌(主なもの) ……………

- 7月1日 長沼市長初登庁式
- 2日 天田いづみのティータイム
- 4日 志木二中 給食指導の現場を見る
- 11日～28日 議会定例会
- 18日 長沼明 市政報告会
- 19日 館第2排水ポンプ場 可搬式ポンプ導水路埋設工事 現場視察
- 29日 朝霞地区一部事務組合職員倫理規定について(志木消防署 柴崎署長)
- 30日 市制施行35周年記念 市民花火大会
- 8月7日 子どもたちの「いいところ応援計画」～学校版ジョブコーチを目指して～ 所沢市教委健やか輝き支援室支援委員 阿部利彦さん(NPO法人 発達支援センター ひまわり)
- 23日 老人保健福祉計画審議会及び介護保険事業計画策定委員会 傍聴
- 24日 市民病院の運営について市民と意見交換(管理課 尾崎課長心得)
- 28日 西原特定土地地区画整理組合 第7回総会  
いろは市(いろは商店会)
- 30日 石綿含有建材使用調査に関して志木四小体育館視察(大滝校長)
- 9月1日～28日 議会定例会
- 2日 校長会傍聴「地域立学校経営協議会について」宗岡中 坂本校長等からの報告
- 3日 「グランドデザイン・福祉は変わる？」埼玉県立大学教授 佐藤進さん、前志木市長 穂坂邦夫さん(朝霞手をつなぐ育成会)
- 8日 志木市立救急市民病院 ルネサンス・プロジェクト委員会 第1回
- 10日 ～特別支援教育の専門家チームの一員として～ 京都大学医学部 作業療法士 加藤寿宏さん(NPO法人 発達障害支援センター ひまわり)
- 11日 ソーシャル スキル トレーニング見学(NPO法人 発達障害支援センター ひまわり)
- 14日 中学校通学区選択の自由化について意見を聞く(宗岡中 久保教頭、志木中 江口教頭)
- 15日 " "、スクールサポーターについて(志木二中 大嶋校長)
- 19日 敬老会
- 22日 中学校通学区選択の自由化について意見を聞く(宗岡二中 大塚校長)



老人保健福祉計画審議会及び介護保険事業計画策定委員会傍聴

- 26日 企業組合 ワーカーズ・コレクティブはな ヘルパー講座開設について(伊藤智恵子理事長他)
- 10月1日 指定管理者制度について((財)志木市文化スポーツ振興公社 川目理事長、田村事務局長)
- 1～2日 第3回いろはふれあい祭 (いろはふれあい祭運営委員会)
- 3日 志木地区衛生組合議会・・・2004年度決算に対する質疑
- 5日 アフターファイブ (21しき市民会議5期) 長沼市長との懇親会
- 6日 志木小夢の課外授業 芝田山親方(1～3年)、金山校長と懇談  
志木市立救急市民病院ルネッサンス・プロジェクト委員会 第2回
- 8日 天田いづみのティータイム
- 12日 行政パートナーについて市民と懇談  
職員のメンタルヘルスについて (朝霞保健所 斎藤主任)
- 16日 行政パートナーについて (いろは遊学館 下河辺館長)  
健康まつり
- 23日 環境デー クリーン作戦 親水公園斜面林ごみ拾い (NPO法人 エコシティ志木)  
コスモスまつり (あいがも会)
- 29日 市政功労者、まちなみ写真コンテスト、いろは子ども文化賞表彰式典  
9月4日の豪雨により発生した水害原因等の中間報告

● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

実家の母の入院等で、たより発行が遅くなりました。決して充分なことにはできませんが、家族として誠心誠意支えることで見えてくるものは沢山あります。

ことに、人間として患者に尊敬の念を持ち、最大限患者の立場に立って判断しつつ自分を磨いていく医師には、患者も家族も大いに支えられ、やりたいことができるように前向きな生き方をチームで応援して下さる医療スタッフには本当に励まされています。

市民病院も市民が応援し、患者・家族をサポートできる頼もしい病院にしたい。今、医療・介護を受けている全ての皆様やご家族と共に、取り組んでいきたい。どうかご意見をお寄せ下さい。



志木四小通学路安全チェック (05.11.29)

## ティータイム



4月1日(土)

午後2:00～4:00

柳瀬川図書館2階和室

最近志木の中で身近に感じていること、思っていることなどを気軽にお話しませんか?  
緑といづみのふれあいネットワーク

(連絡先 天田 471-1338)

**\*\* これまでの活動とその成果は!! \*\***

**天田いづみのホームページでご覧下さい**

<http://www.ff.e-mansion.com/~amada/>

《天田いづみ》で検索して下さい